Canofax L230

スタートアップガイド

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

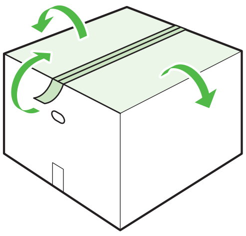


JPN

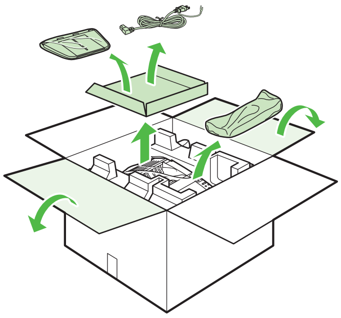
梱包材を取り除く

本製品に貼られているテープをすべてはがし、包装部品を取り除きます。

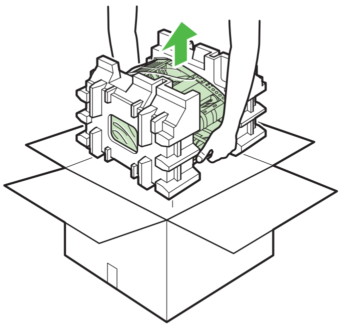
1



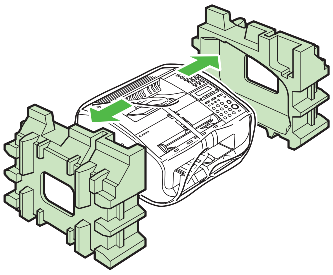
2



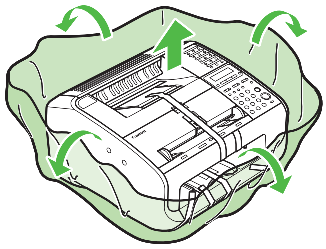
3



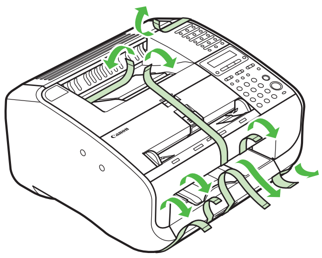
4



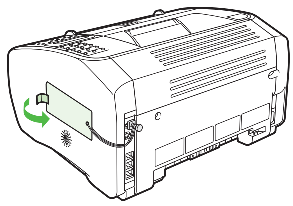
5



6

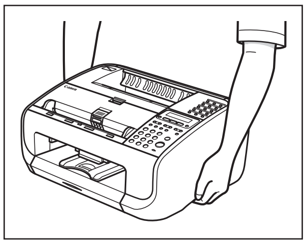


7



メモ

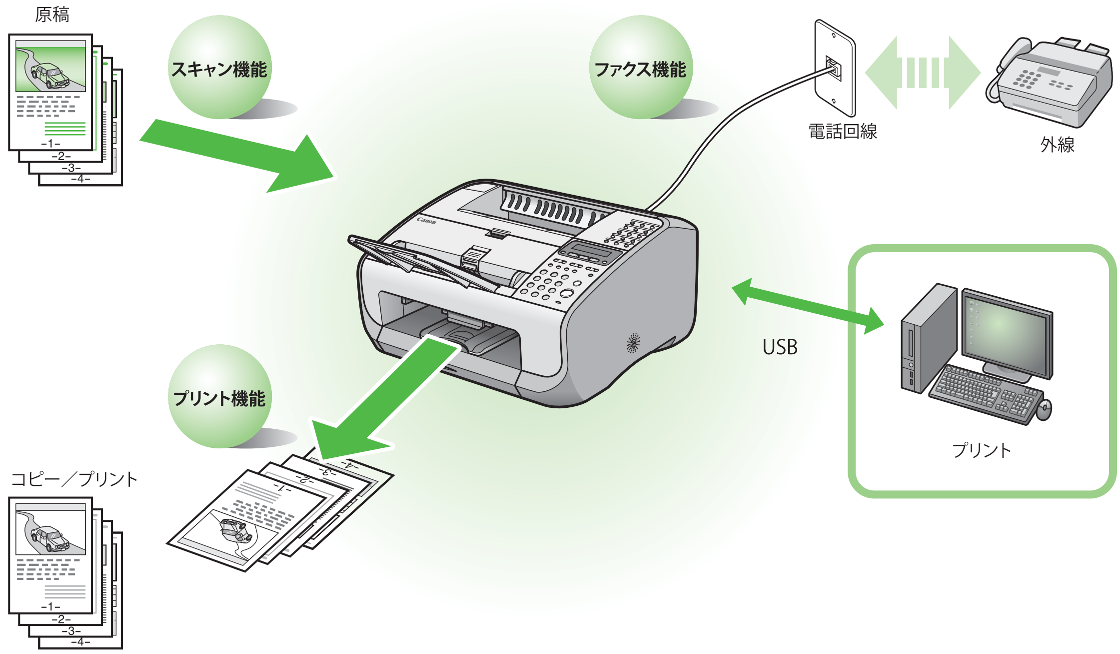
本体を運搬する際には、下記の図のように本体両側の指かけをつかみ、注意して持ち上げます。



目次

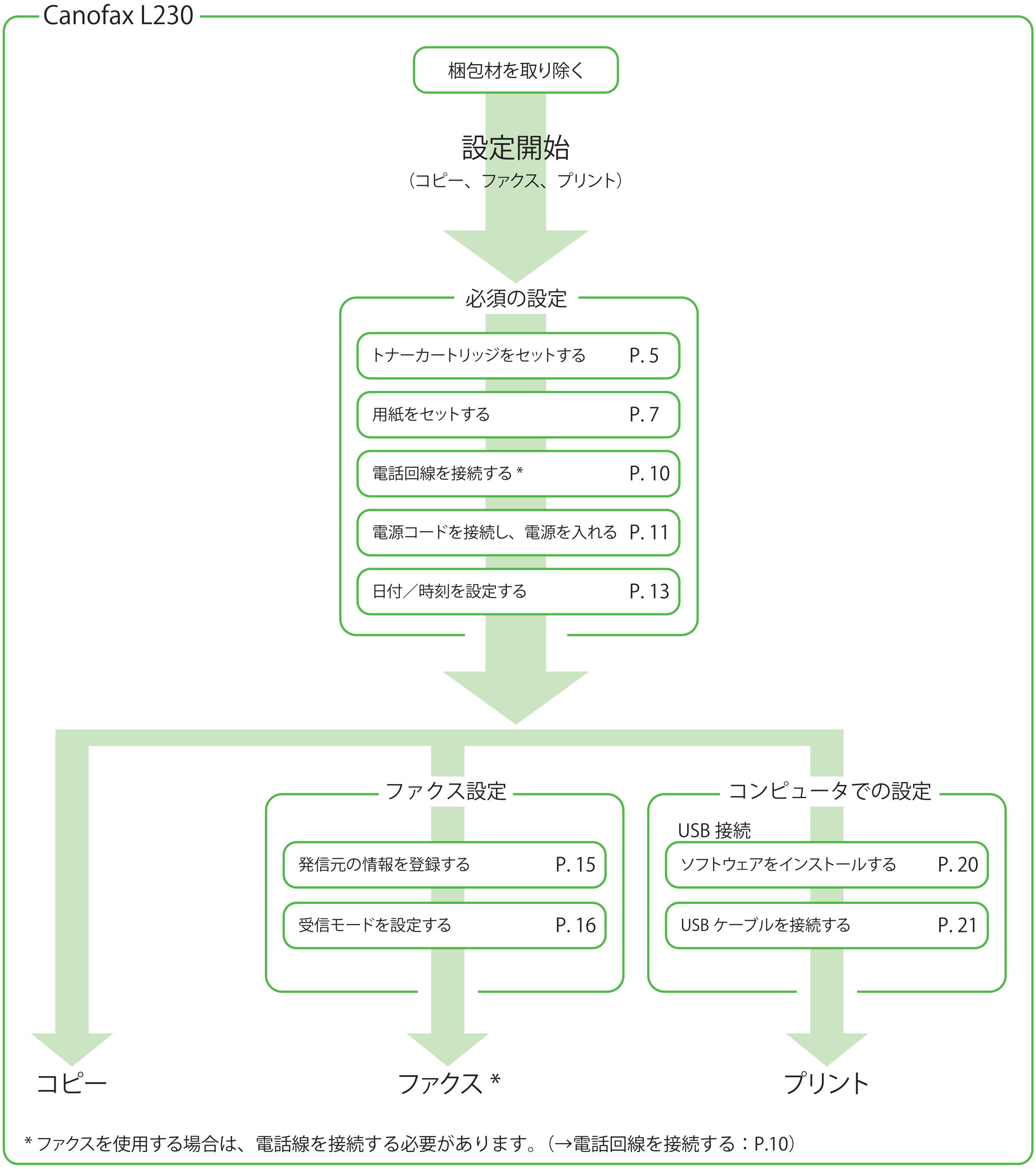
こんなことができます

本製品では次の機能が使用できます。



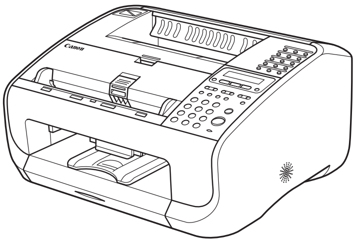
目的までの流れ

各機能（コピー、ファクス、プリント）を使用するには、以下の流れに沿って設定してください。
例えば、コピー機能のみ使用する場合は「必須の設定」を、コピー機能とファクス機能の両方を使用する場合は「必須の設定」と「ファクス設定」を設定します。

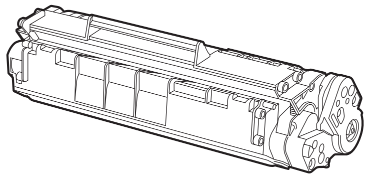


本製品のセットアップ

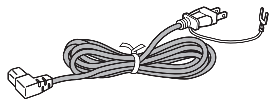
同梱品を確認する



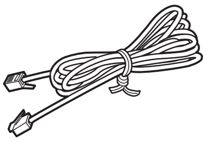
●本体



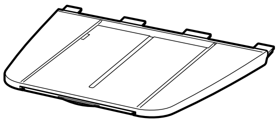
●トナーカートリッジ



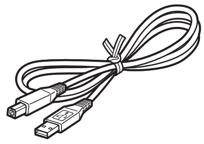
●電源コード



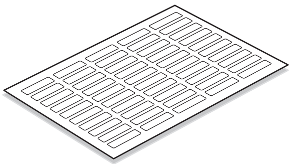
●電話線コード



●原稿給紙トレイ



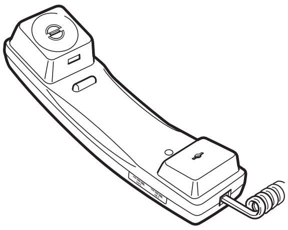
●USB ケーブル



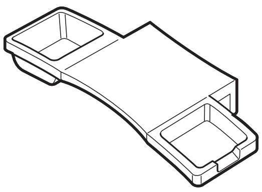
●宛先ラベル

●スタートアップガイド（本書）
●操作ガイド（基本編）
●ユーザソフトウェア CD-ROM
●保証書
●キヤノンサービスパックのおしらせ
●サービス店シール

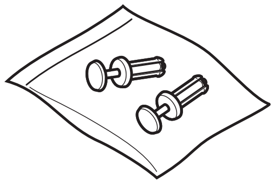
オプションハンドセット



●ハンドセット

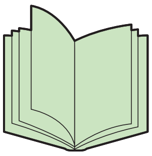


●ハンドセット置台

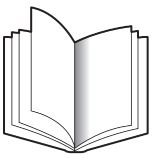


●ピンとプラグ

同梱されているマニュアルについて



●スタートアップガイド（本書）：本製品の設定およびソフトウェアのインストールについて説明しています。



●操作ガイド（基本編）：基本的な操作について説明しています。

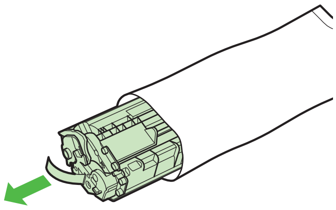


（ユーザソフトウェアCD-ROM）

●操作ガイド（総合編）：すべての操作について説明しています。（基本的な操作も含まれています。）

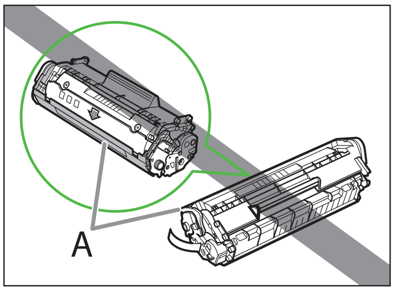
トナーカートリッジをセットする

1 トナーカートリッジを保護袋から取り出します。

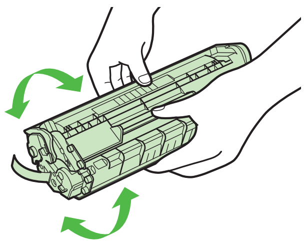


注意

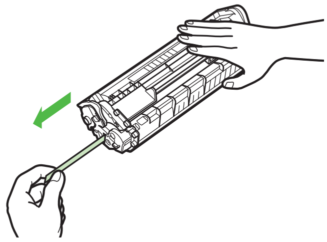
ドラム保護シャッター（A）を開けないでください。



2 トナーカートリッジをゆっくりと数回振って、内部のトナーを均一にならします。



3 平らなところに置いてシーリングテープを完全に引き抜きます。

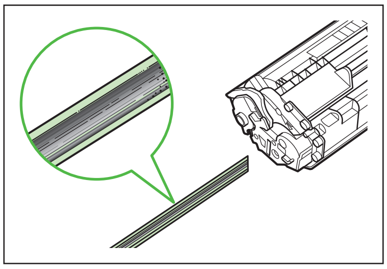


メモ

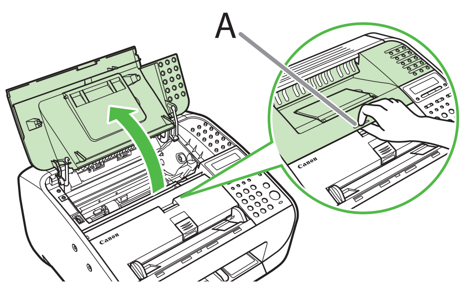
シーリングテープはまっすぐに引き抜いてください。

注意

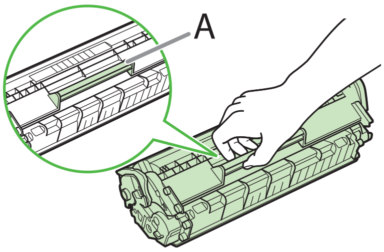
- 引き抜いたシーリングテープには、トナーが付着していることがあります。手や衣服を汚さないように注意してください。
- 手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。温水を使うと、トナーが定着し、落ちなくなります。



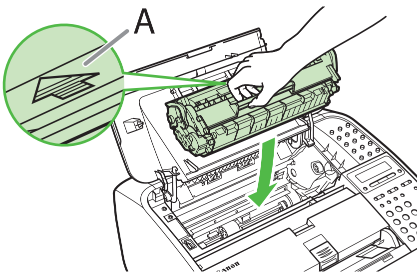
4 トナーカバー（A）を開けます。



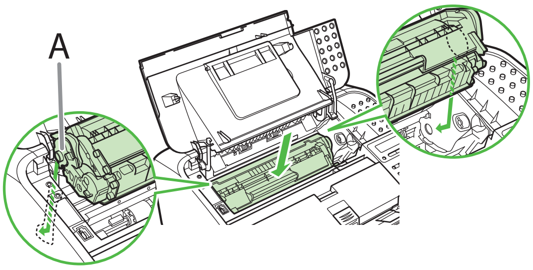
5 トナーカートリッジの取っ手（A）を持ちます。



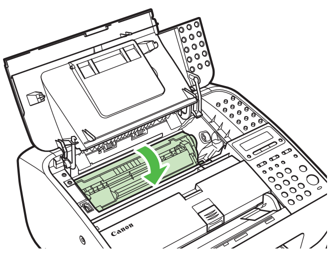
6 矢印（A）を本体に向けてください。



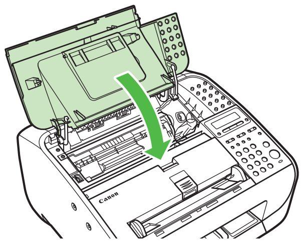
7 トナーカートリッジの左端の突起（A）を本体内部の溝に合わせ、ガイドに沿って収めます。



8 トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで手で押し込みます。

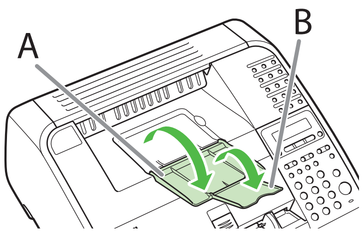


9 トナーカバーを閉じます。



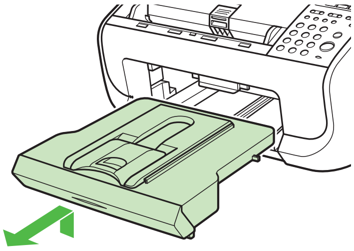
> **注意**
> 指を挟まないよう注意してください。

10 原稿排紙トレイ（A）と原稿排紙補助トレイ（B）を開きます。



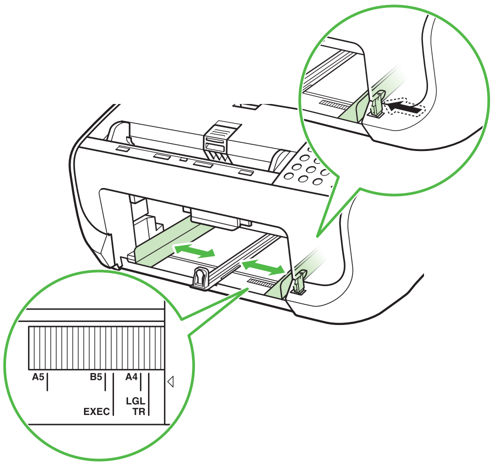
用紙をセットする

1 用紙カバーを持ち上げ、完全に引き出します。

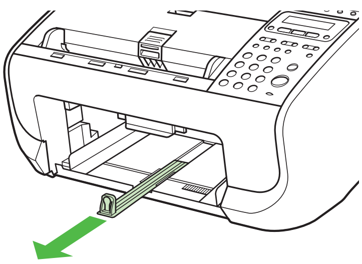


メモ
用紙カバーの後端が用紙後端ガイドに引っかからないようにして下さい。

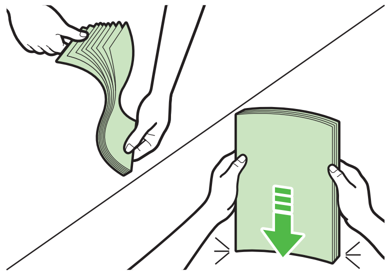
2 左右の用紙ガイドをつまみながら用紙サイズに合うようにスライドさせます。



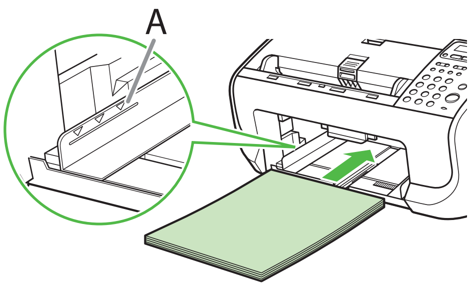
3 用紙後端ガイドをスライドします。



4 用紙をよくさばき、端を揃えます。

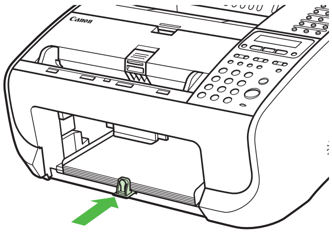


5 印刷する面を上にして用紙をセットします。



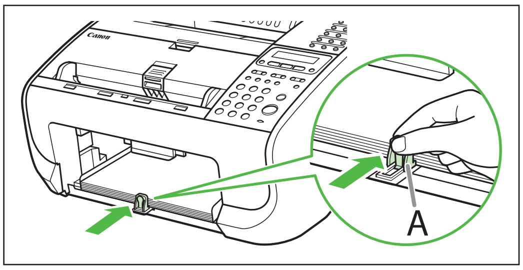
メモ
セットした用紙束の高さが、給紙ガイド（A）より下になるように確認してください。

6 用紙後端ガイドを、用紙サイズに合うようスライドさせます。

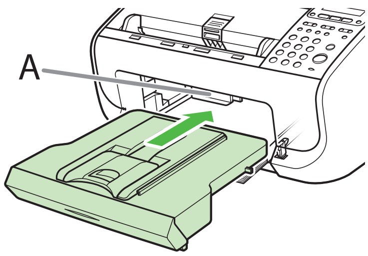


メモ

- 工場出荷時には、用紙サイズと種類はそれぞれ＜A4＞、＜フツウシ＞にセットされています。それ以外の用紙をセットするときは、用紙のサイズと種類を変更してください。詳細は、操作ガイド（基本編）「第2章 原稿と用紙の取り扱い」「使用可能な用紙」を参照してください。
- はがきをセットする方法については、操作ガイド（基本編）「第2章 原稿と用紙の取り扱い」「用紙をセットする」を参照してください。
- A4サイズより短いサイズの用紙をセット場合は、用紙後端ガイドをつまみながら、用紙サイズの位置に合うようスライドさせます。



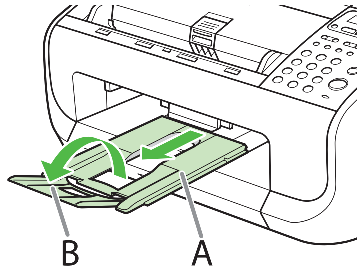
7 排紙カバーをセットします。



メモ

取り付ける際は用紙カバーの後端が原稿読み取り部に引っかからないようにしてください。

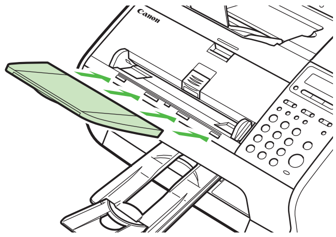
8 排紙トレイ（A）を引き出し、排紙補助トレイ（B）を開きます。



注意

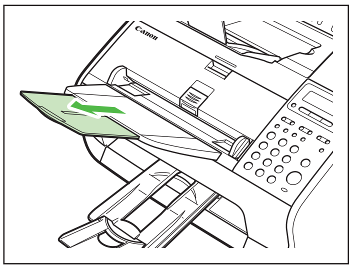
排出トレイを広げない状態で、排紙補助トレイを開閉しないでください。

9 原稿給紙トレイを差し込みます。



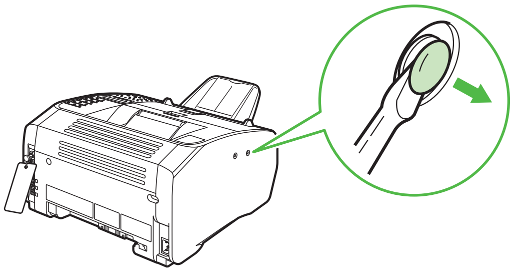
メモ

セットする原稿が原稿給紙トレイより大きいときは、拡張トレイを引き出してください。



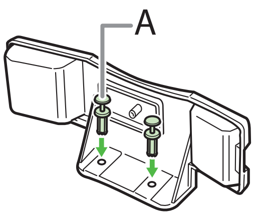
オプションハンドセットを取り付ける

1



ドライバーなどを使って、本体左側面のフタを 2 つ外します。

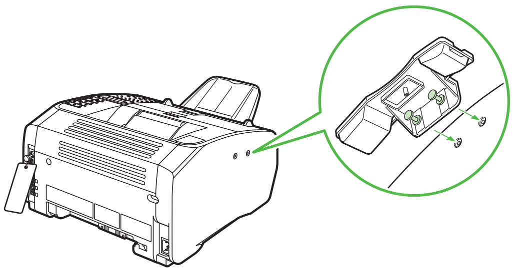
2



プラグからピンを抜き取り、プラグをハンドセット置き台の穴に差し込みます。

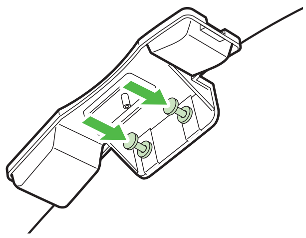
メモ
この時点では、ピンをプラグに差さないでください。

3



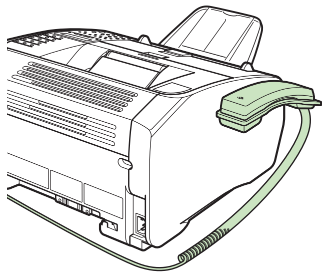
ハンドセット置き台に差したまま、プラグを本製品の穴に差し込みます。

4



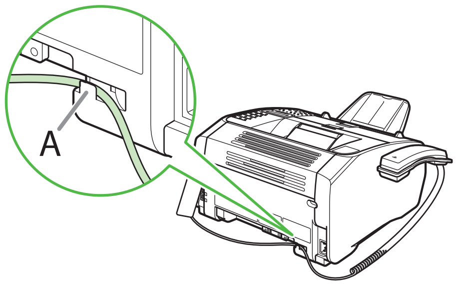
ピンをプラグに差して、指で押し込みます。

5



ハンドセットを置き台に置きます。

6



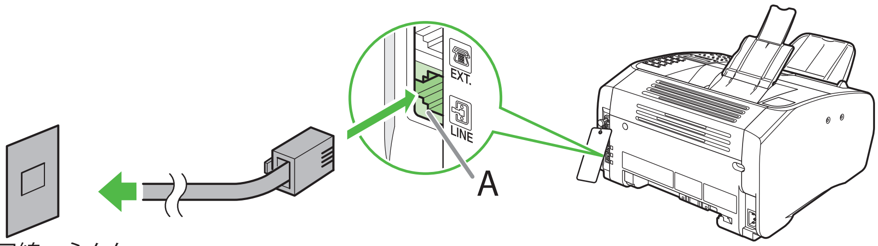
配線にゆとりをもたせるために、本体の裏側にあるフック（A）にハンドセットのケーブルを掛けます。

メモ
ハンドセットまたはお手持ちの電話機を使用する場合は、受信モードを＜ FAX/TEL ＞または＜シュドウ＞に設定してください。（→ファクス受信の設定、受信モードを選択する：P.16）

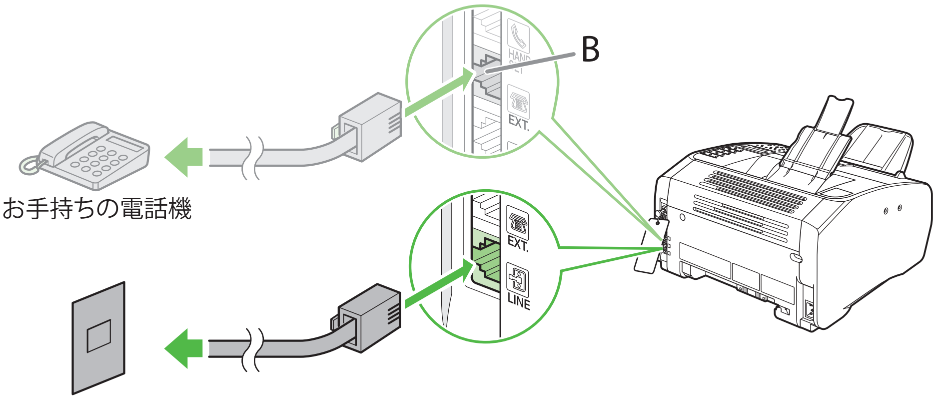
電話回線を接続する

ファクスを使用する場合は本製品を電話回線に接続する必要があります。

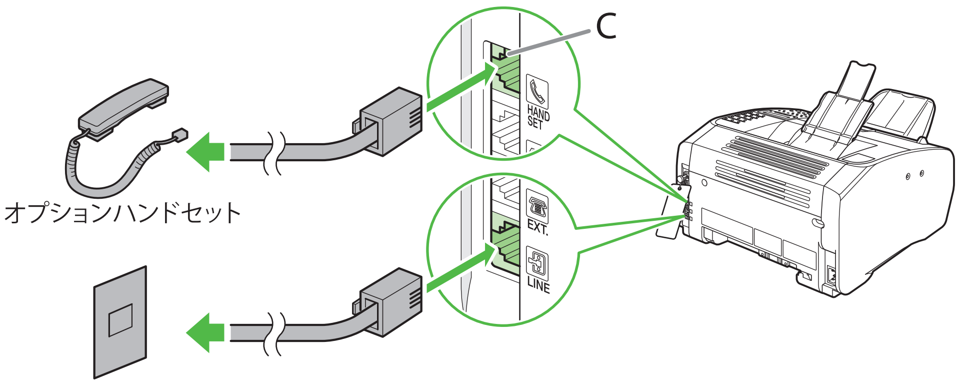
●付属の電話線コードを本体の裏側にある電話回線端子（A）に接続し、もう片方の端を壁側の電話回線コネクタに接続します。



●市販の電話機や留守番電話機を接続する場合は、その電話機の電話線コードを本体の裏側にある外部機器端子（B）に接続します。



●オプションのハンドセットを接続する場合は、ハンドセットの電話線コードを本体の裏側にあるハンドセット端子（C）に接続します。



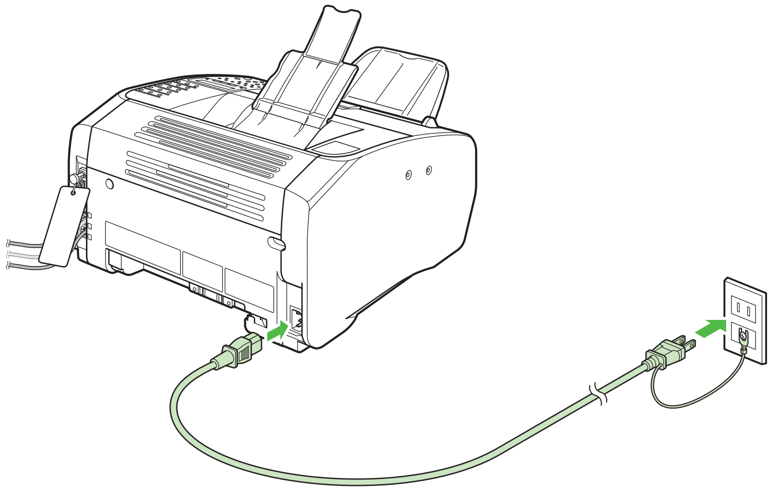
メモ

- 本製品に接続する電話機が、黒電話＊（600 型、601 型等）を含む、金属ベル内蔵電話機の場合は、呼び出し音が小さかったり、呼び出し音が鳴らない可能性があります。
  ＊黒電話とは、以前に一般家庭で普及していた、旧式の黒い電話機の総称です。
- 本製品には電話回線の種別を自動的に判別する機能があります。この機能を有効にするためには、電話線コードを接続してから、電源コードを接続してください。

電源コードを接続し、電源を入れる

本製品では、電源コードを接続すると電話回線の種別が自動的に判別されます。

1 付属の電源コードを本体の裏側にある電源ソケットに差し込みます。アース線をアース端子に接続したあと、電源コードのプラグを電源コンセントに差し込みます。



注意
アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

2 ディスプレイに待受画面が表示されます。

例）

```
2007  12/31  MON  10:50
ｼﾞﾄﾞｳ          ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
```

こんなときは ...

●**ディスプレイが消えたら**
本製品はある一定時間何も操作をしないと、自動的に節電状態に移行します（スリープモード）。スリープモードになった場合は、［節電］を押してスリープモードを解除して設定を続けてください。

●**<カバーヲ　シメテクダサイ／トナーカバー>と表示されたら：**
トナーカバーと操作パネル部がきちんと閉じているか確認してください。（→トナーカートリッジをセットする：P.5）

●**<ヨウシヲ　セット　シナオシテ　クダサイ／トナーヲ　セット　シナオシテ　クダサイ>と表示されたら：**
用紙が正しくセットされていて、トナーカートリッジが正しく取り付けられているか確認してください。（→トナーカートリッジをセットする：P.5、用紙をセットする：P.7）

メモ
- A4 以外の用紙をセットするときは、用紙のサイズを変更してください。（→操作ガイド（基本編）「第 2 章 原稿と用紙の取り扱い」）
- 電源コードを抜くとファクス受信データを含むメモリ内のデータは消去されます。

回線種別が正しく判別されない場合

初期設定では、電話回線の種別は自動的に判別されるように設定されています。電話回線の種別を自動的に判別する場合は、以下の設定をする必要はありません。自動的に判別されない場合は、以下の手順に従い電話回線の種別を手動で設定してください。

メモ

- 電話回線の種別を自動的に判別する場合は、電話線コードを接続してから、電源コードを接続してください。電源コードを先に接続した場合、電話回線の種別は自動的に判別されません。
- 構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合は、電話回線の種別が自動的に判別されないことがあります。

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄−］または［+►］を押して＜5　ファクスセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄−］または［+►］を押して＜2　キホントウロク＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄−］または［+►］を押して＜4　カイセン　シュルイ　センタク＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄−］または［+►］を押して＜シュドウ＞を選択し、［OK］を押します。

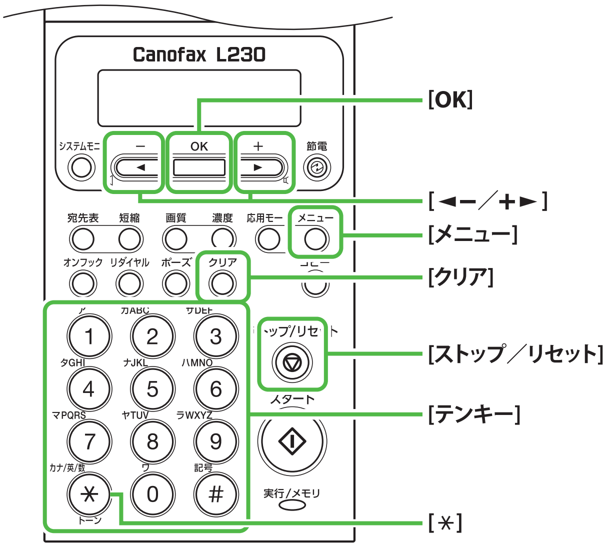
6 ［◄−］または［+►］を押して電話回線の種類を選択し、［OK］を押します。

次の項目から選択できます。
＜プッシュカイセン＞：お使いの電話がトーン回線の場合に選択します。
＜ダイヤルカイセン＞:お使いの電話がパルス回線の場合に選択します。＜ダイヤルカイセン＞を選択した場合、回線速度を＜ 20PPS ＞か＜ 10PPS ＞から選択します。工場出荷時の初期値は＜ 20PPS ＞に設定されています。

7 ［ストップ／リセット］を押して、待受画面に戻ります。

日付／時刻を設定する

本製品を使用する前に必ず、現在の日付と時刻を登録してください。設定した日付と時刻は、時刻指定機能の基準時刻になります。



●キーについて
- テンキー：数字を入力します。
- [◄−] または [+►]：カーソルを動かします。
- [OK]：入力した内容を確定します。

1 [メニュー] を押します。

2 [◄−] または [+►] を押して＜8　タイマー　セッテイ＞を選択し、[OK] を押します。

3 [◄−] または [+►] を押して＜1　ヒヅケ／ジコク　セッテイ＞を選択し、[OK] を押します。

4 テンキーを使って時刻（24 時間表示）と日付（年／月／日）を入力し、[OK] を押します。

例)

ﾋﾂﾞｹ/ｼﾞｺｸ ｾｯﾃｲ
10:50 '07 12 31

メモ

数字を間違えて入力した場合は、[◄−] または [+►] で修正する数字にカーソルを合わせて上書きして下さい。

5 [ストップ／リセット] を押して、待受画面に戻ります。

メモ

- 日付の表示形式は、＜2　ヒヅケ／ジコク　タイプ＞で以下の中から選択できます。
  – ＜ YYYY MM/DD ＞
  – ＜ MM/DD/YYYY ＞
  – ＜ DD/MM YYYY ＞

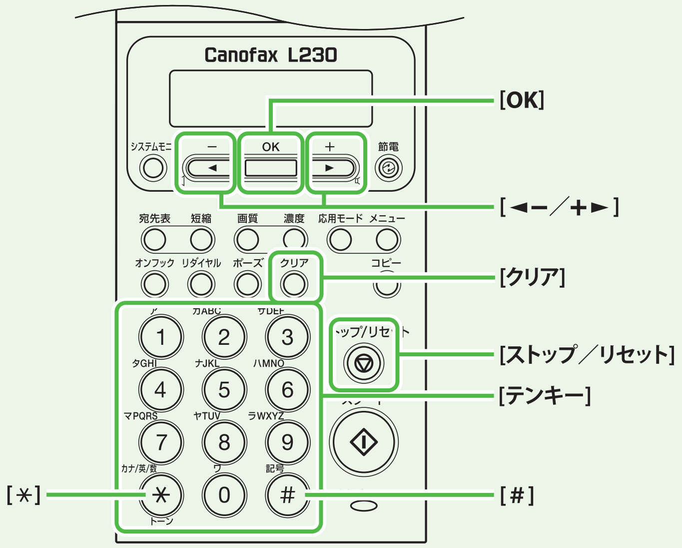
こんなときは ...

●**ディスプレイが消えたら**
本製品はある一定時間何も操作をしないと、自動的に節電状態に移行します（スリープモード）。スリープモードになった場合は、[節電] を押してスリープモードを解除して設定を続けてください。

ファクス送信の設定

文字の入力方法

次のボタンを使用して本体に情報を入力します。



各入力モードで、以下の文字を入力できます。

⊛	[ア]	[A]	[1]
①	アイウエオ		1
②	カキクケコ	ABCabc	2
③	サシスセソ	DEFdef	3
④	タチツテト	GHIghi	4
⑤	ナニヌネノ	JKLjkl	5
⑥	ハヒフヘホ	MNOmno	6
⑦	マミムメモ	PQRSpqrs	7
⑧	ヤユヨ	TUVtuv	8
⑨	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
⓪	ワヲン アイウエオヤユヨツ	0	
⊕	（スペース） ゛（濁音） ゜（半濁音） 。「」、・ -	（スペース）－ . ＊ # ! " , ; : ^ ` _ = / | ´ ? $ @ % & + ( ) [ ] { } < >	#

●文字の入力は操作パネルのテンキーを使います。入力したい文字が表示されるまでテンキーを繰り返し押します。

●記号を入力するには、［#］を押します。

●入力モードを切り替えるには［＊］を押します。

- ［ｱ］：カナモード
- ［A］：アルファベットモード
- ［1］：数字モード

●カーソルを動かすには、［◄−］または［+►］を押します。

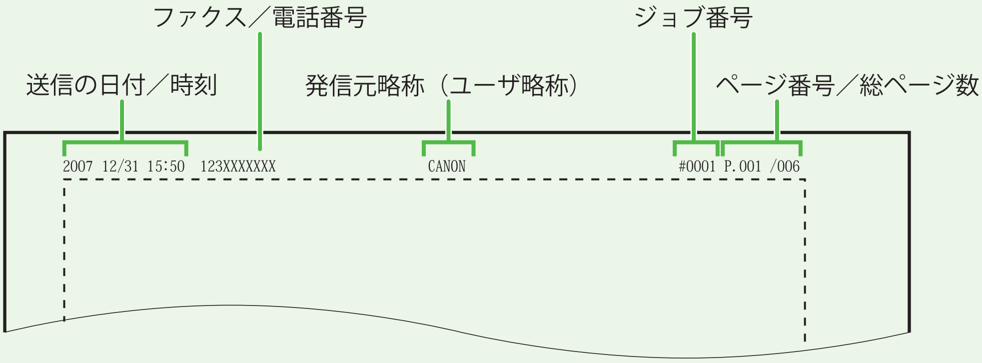
●カーソルの位置で文字を削除するには、［クリア］を押します。文字をすべて削除するには、［クリア］を長押しします。

発信元の情報を登録する

ファクスを送信する前に必ず、送信した相手の記録紙に印字される発信元の情報（ファクス番号、発信元略称（ユーザ略称）、現在の日付／時刻）を登録します。

文字入力ガイドライン

登録した発信元の情報は、ファクスを送信したときに、発信元記録として相手先の記録紙にプリントされます。



1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄−］または［+►］を押して＜5　ファクスセッテイ＞を選択し、[OK]を押します。

3 ［◄−］または［+►］を押して＜2　キホントウロク＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄−］または［+►］を押して＜1　ユーザ TEL バンゴウトウロク＞を選択し、［OK］を押します。

5 送信した相手の記録紙に印字されるファクス番号（スペースを含め最大 20 桁）をテンキーを使って入力し、［OK］を押します。
（→文字の入力方法：P.14）

例）

```
ﾕｰｻﾞTELﾊﾞﾝｺﾞｳﾄｳﾛｸ
123XXXXXXX_
```

メモ
［#］ボタンで、スペース、−、+ が入力できます。

6 ［◄−］または［+►］を押して＜2　キホントウロク＞を選択し、［OK］を押します。

7 ［◄−］または［+►］を押して＜2　ユーザリャクショウ　トウロク＞を選択し、［OK］を押します。

8 送信した相手の記録紙に印字される名前（最大 32 文字）（名前、会社名、など）を、テンキーを使って入力し、[OK]を押します。
（→文字の入力方法：P.14）

例）

```
ﾕｰｻﾞﾘｬｸｼｮｳ ﾄｳﾛｸ   [ｱ]
ｷｬﾉﾝ
```

9 ［ストップ／リセット］を押して、待受画面に戻ります。

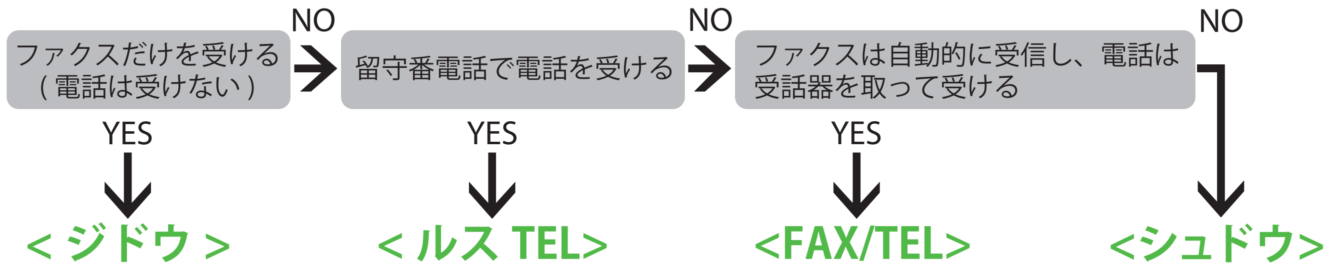
こんなときは …

● **ディスプレイが消えたら**
本製品はある一定時間何も操作をしないと、自動的に節電状態に移行します（スリープモード）。スリープモードになった場合は、［節電］を押してスリープモードを解除して設定を続けてください。

ファクス受信の設定

受信モードを選択する

ファクスや電話をどのように受信するかを受信モードで設定します。以下に従って、適切な受信モードを選択してください。（→受信モードについて：P.17）



メモ

- リモート受信機能は、受信モードが＜シュドウ＞で外付け電話機が接続されている場合に便利です。外付け電話機の受話器を取って2桁のリモート受信ID（初期値：25）を入力することで、ファクスを受信できます。
- ＜ルス TEL ＞の場合は、留守番電話機を本製品に接続してください。（→電話回線を接続する：P.10）
- ＜ FAX/TEL ＞または＜シュドウ＞の場合は、外付け電話機を本製品に接続してください。（→電話回線を接続する：P.10）
- 初期設定では、＜1　ジュシンモード＞が＜ジドウ＞に設定されています。本体に外付け電話機が接続されていて、ファクスや電話を受信すると、外付け電話機が鳴ります。外付け電話機が鳴っている間は電話に出ることができます。呼び出し音を鳴らさないようにするには、［メニュー］→＜5　ファクスセッテイ＞→＜4　ジュシン　キノウ　セッテイ＞→＜2　チャクシン　ヨビダシ＞を＜ OFF ＞にしてください。

受信モードを設定する

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄−］または［+►］を押して＜5　ファクスセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄−］または［+►］を押して＜1　ジュシンモード＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄−］または［+►］を押して受信モードを選択し、［OK］を押します。

5 ［ストップ／リセット］を押して、待受画面に戻ります。

こんなときは ...

●ディスプレイが消えたら
本製品はある一定時間何も操作をしないと、自動的に節電状態に移行します（スリープモード）。スリープモードになった場合は、［節電］を押してスリープモードを解除して設定を続けてください。

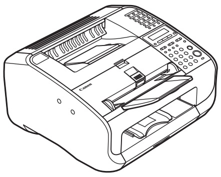
受信モードについて

<ジドウ>

ファクスを自動で受信します。外付け電話機を接続しないでファクス機能のみを使用する場合にこのモードを選択します。

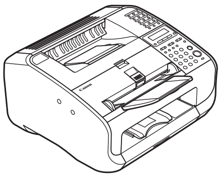
●ファクス受信時

ファクスを自動で受信します。



●電話受信時

応答しません。

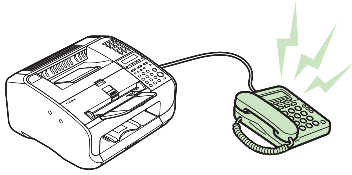


<ルス TEL>

ファクスを自動で受信します。電話を留守番電話機で受信します。

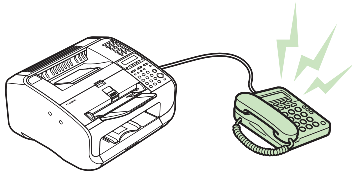
●ファクス受信時

留守番電話機の呼び出し音が鳴りファクスを自動で受信します。



●電話受信時

留守番電話機の呼び出し音が鳴りメッセージを録音します。

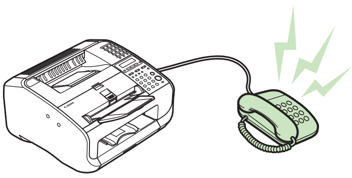


<シュドウ>

ファクスと電話すべての受信時に呼び出し音が鳴ります。ファクスを手動で受信します。

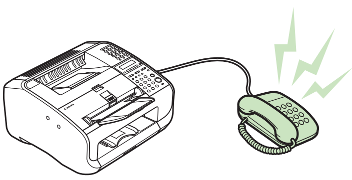
●ファクス受信時

外付け電話機が鳴ります。
受話器を取るか［オンフック］キーを押し、［スタート］キーを押してファクス受信します。または、外付け電話機の受話器を取り、リモート受信機能を使ってファクス受信します。



●電話受信時

外付け電話機が鳴ります。電話に応答してください。

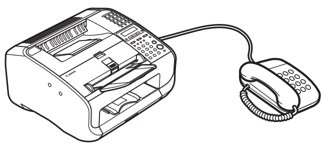


<FAX/TEL>

ファクスと電話を自動的に切り替えます。ファクスの場合は自動で受信し、電話の場合は外付け電話機から呼び出し音が鳴ります。

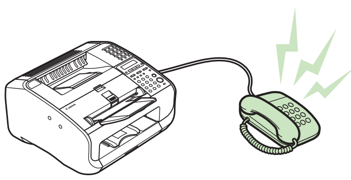
●ファクス受信時

ファクスを自動で受信します。



●電話受信時

外付け電話機が鳴ります。電話に応答してください。



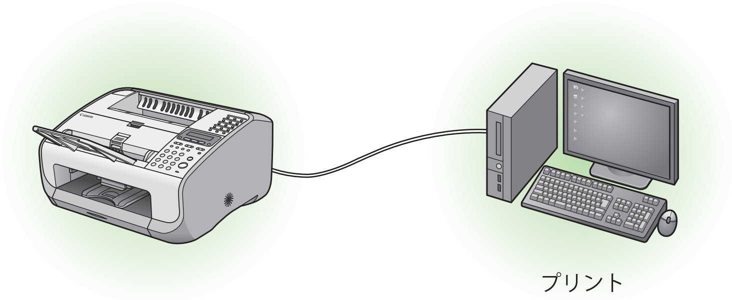
コンピュータでのソフトウェア設定

コンピュータと本製品の接続方法

USB 接続（設定方法の詳細は、P.20 を参照してください。）

コンピュータからのプリントができます。

コンピュータからのプリントの詳細については、操作ガイド（総合編）5 章「プリント」を参照してください。



動作環境

Microsoft Windows 2000
CPU：Intel® Pentium® 133MHz 以上
メモリ：128MB 以上

Microsoft Windows XP
CPU：Intel® Pentium® II/Celeron® 300MHz 以上
メモリ：128MB 以上

Microsoft Windows Server 2003
CPU：Intel® Pentium® II/Celeron® series133MHz 以上
メモリ：128MB 以上

Microsoft Windows Vista
CPU：Intel® Pentium® 800MHz 以上
メモリ：512MB 以上

ユーザーソフトウェア CD-ROM について

ドライバ

CARPS2 ドライバ
キヤノン CARPS2 プリンタドライバによりアプリケーションから本製品にプリントできるようになります。コンピュータの処理能力を利用してプリントするデータを圧縮することで高速データ処理できます。

マニュアル

操作ガイド（総合編）
操作ガイド（総合編）では、各種操作、システム管理者設定、各種レポート／リスト、トラブル時の対処方法について説明しています。

付属のアプリケーションについて

FontGallery
TrueType フォント和文書体、かな書体、欧文書体が収められています。

FontComposer
FontGallery の通常書体とかな書体を組み合わせて使用するためのユーティリティソフトウェアです。

メモ

- 「FontGallery」と「FontComposer」は、ユーザソフトウェア CD-ROM 内にある［FGALLERY］フォルダからインストールしてください。インストール方法は［FGALLERY］フォルダに収められている取扱説明書を参照してください。また、各アプリケーションについての注意事項等については Readme ファイルを参照してください。
- ［FGALLERY］フォルダの開き方：タスクバーの［スタート］→［マイ コンピュータ］をクリックします。Windows 2000 のときは、デスクトップの［マイ コンピュータ］をダブルクリックします。CD-ROM アイコンを開き、[FGALLERY] フォルダをダブルクリックしてください。
- 「FontGallery」と「FontComposer」は Windows Vista には対応していません。

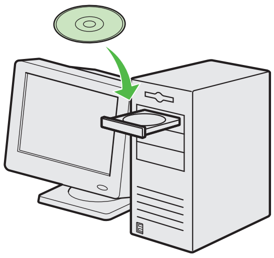
USB 接続

インストールする前に

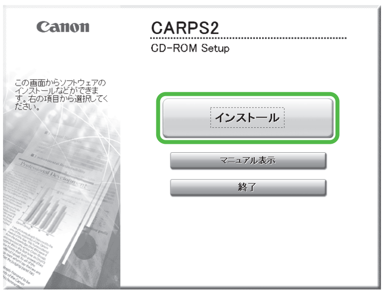
- ソフトウェアをインストールする前に、USB ケーブルを接続しないでください。ソフトウェアをインストールする前に USB ケーブルを接続すると、［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示されます。この場合は、［キャンセル］をクリックして USB ケーブルを外してください。
- Windows 2000/XP/Server2003/Vista をお使いの場合は、管理者モードでログオンしてください。
- USB ケーブルを接続する前に、本製品の電源が入っていることを確認してください。
- 各手順の画面上の緑色の枠で囲まれたボタンをクリックすると、次の手順に進みます。

インストール手順

1



2

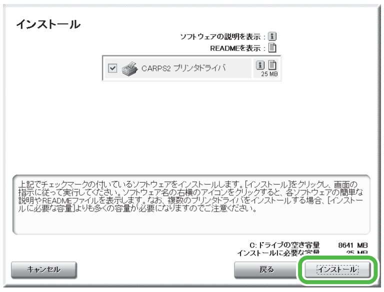


［CARPS2 CD-ROM Setup］画面が表示されない場合は、タスクバーの［スタート］→［マイ コンピュータ］をクリックします。

Windows Vista：タスクバーの［スタート］→［コンピュータ］をクリックします。
Windows 2000：デスクトップ上の［マイ コンピュータ］をダブルクリックします。

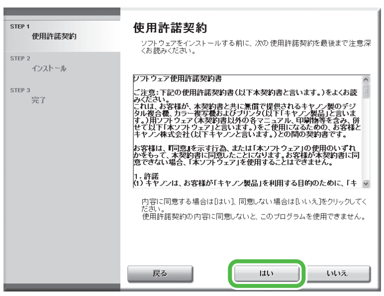
次に、CD-ROM アイコンを開き、［MInst (MInst.exe)］をダブルクリックします。

3



> **メモ**
> ディスク容量が足りないためソフトウェアをインストールできない場合は、エラーメッセージが表示されます。ディスクの空き容量を増やしてから、もう一度インストールしてください。

4



5



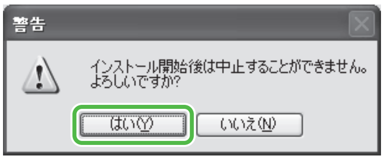
6



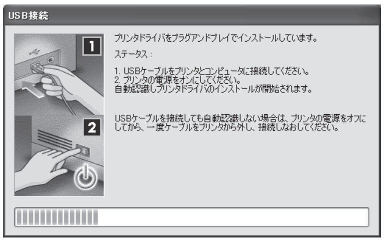
［USB 接続でインストール］をチェックして［次へ］をクリックします。

> **メモ**
> 本製品は［USB 接続でインストール］を推奨しています。

7



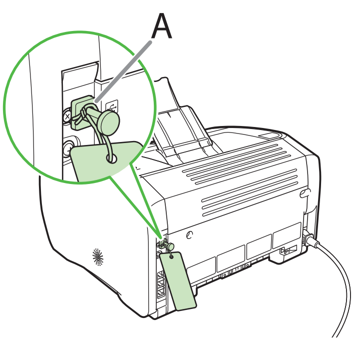
8



プログレスバーが右端に到達する前に手順 9 と 10 を行ってください。

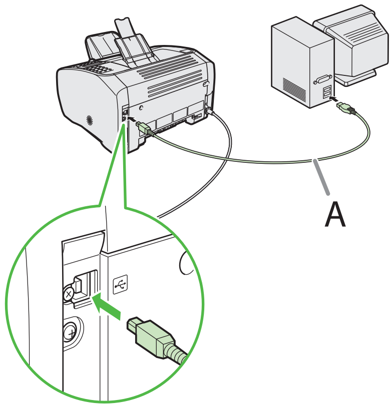
> **メモ**
>
> 
>
>
> 上記のダイヤログボックスが表示された場合は［再試行］を選択してインストールを続けてください。

9



本体後部の USB キャップ（A）を取り外します。

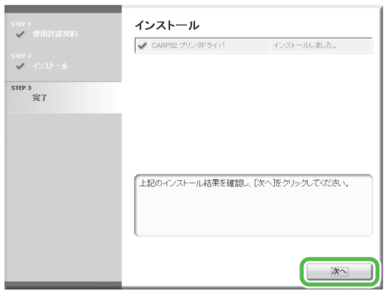
10



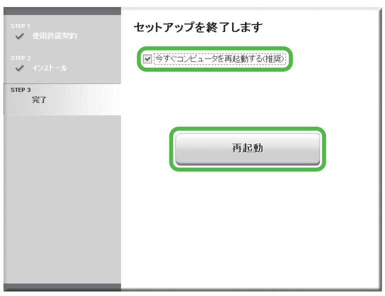
再起動した後、USB ケーブル（A）を、本製品とお使いのコンピュータに接続します。

> **メモ**
>
> 新しいハードウェアウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックしてインストールを続けてください。

11

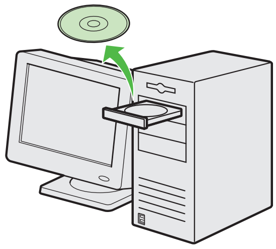


12



［今すぐコンピュータを再起動する（推奨）］をチェックしたあと、［再起動］ボタンをクリックして再起動してください。

13



インストールが完了しました。

インストールの確認をする

ドライバが正しくインストールされているか、また本製品が通常使うプリンタとして設定されているかを確認します。

メモ
アプリケーションから［印刷］画面を開いたときに、本製品が選択されていれば、本製品が通常使うプリンタとして設定されています。

1 ［プリンタと FAX］、Windows 2000 の場合は［プリンタ］フォルダを開きます。

Windows XP/Server2003 ではタスクバーの［スタート］から、［プリンタと FAX］をクリックします。
Windows Vista ではタスクバーの［スタート］から、［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］をクリックします。

Windows 2000 の場合は［スタート］から、［設定］→［プリンタ］をクリックします。

［Canon L90/L160/L230 CARPS2］のアイコンが表示されているか確認します。

2 通常使うプリンタに設定します。

本製品のプリンタのアイコンをクリックします。［ファイル］メニューから、［通常使うプリンタに設定］をクリックします。

アンインストール手順

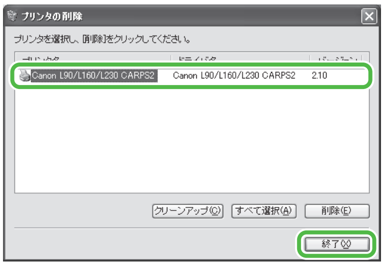
CARPS2 ドライバを削除する前に、次のことを確認してください。
●ユーザソフトウェア CD-ROM があること（再インストールする場合）
●コンピュータ上で実行中のアプリケーションがないこと

> **メモ**
> Windows 2000/XP/Server2003/Vista をお使いの場合は、管理者モードでログオンしてください。

CARPS2 ドライバを削除する

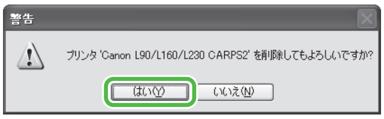
1 タスクバーの[スタート]から、[（すべての）プログラム]→［Canon Printer Uninstaller］→［CARPS2 Printer Uninstaller］をクリックします。［プリンタの削除］画面が表示されます。

2 ［Canon L90/L160/L230 CARPS2］を選択し、［削除］をクリックします。

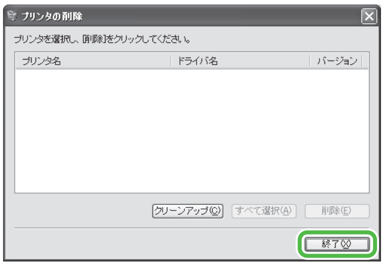


3 ［はい］をクリックします。

アンインストールが自動で実行され、次の画面が表示されます。



4 ［終了］をクリックします。

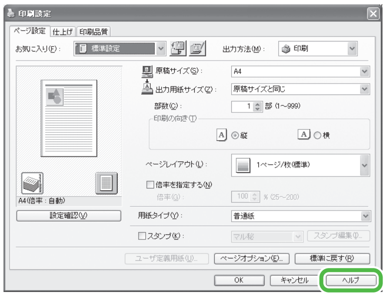


> **メモ**
> 必要に応じてコンピュータを再起動してください。

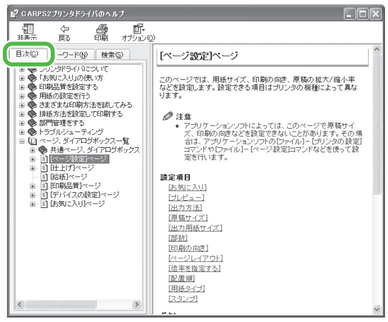
オンラインヘルプの使い方

付属の CD-ROM には、取扱説明書に記載されていないプログラム（ドライバソフトウェアやアプリケーションソフトウェア）が含まれています。これらのプログラムを使用するには、以下に説明するオンラインヘルプまたは状況依存ヘルプを参照してください。

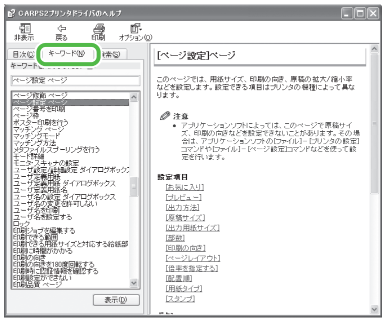
ドライバソフトウェアと一緒に収録されているオンラインヘルプファイルには、追加のヘルプ情報が収められています。
アプリケーションのメニューバーから［ファイル］→［印刷］を選択します。［印刷］画面の［プリンタの選択］または［プリンタ名］でプリンタを選択し、［詳細設定］または［プロパティ］をクリックします。
［プロパティ］画面で［ヘルプ］をクリックすると、MF ドライバの全機能とオプションに関する追加情報が表示されます。



ヘルプ画面で［目次］をクリックし、目的のタイトルをダブルクリックすると、情報が表示されます。



ヘルプ画面で［キーワード］をクリックし、一覧の中から目的のキーワードをダブルクリックすると、情報が表示されます。
目的のキーワードを検索するには、上部のテキストボックスにキーワードを直接入力してください。もっとも近いキーワードが下のリストに表示されます。



お問い合わせ窓口について

本製品に操作上問題が発生したときは、操作ガイド(基本編)、操作ガイド(総合編)の「困ったときには」を参照してください。問題が解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センター(巻末参照)にご連絡ください。

商標について

Canon、Canon ロゴ、および Canofax はキヤノン株式会社の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

免責事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

本書は本文に再生紙を
使用しています。
本書は揮発性有機化合物（VOC）
ゼロのインキを使用しています。

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
（全国共通番号）

050-555-90055

［受付時間］　〈平日〉9:00〜20:00
〈土日祝祭日〉10:00〜17:00
（1/1〜3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9331 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

FT5-1317　(020)　XXXXXXXXXX

PRINTED IN KOREA